



メッセージの到着通知設定の変更

- [49 ページの「メッセージの到着通知について」](#)
- [50 ページの「デバイスへの通知のオンまたはオフ」](#)
- [51 ページの「通知先電話番号の変更」](#)

メッセージの到着通知について

Cisco Unity Connection では、新しいメッセージが到着したことを通知するために、電話またはポケットベルを呼び出すことができます。

通知のオンとオフを切り替えるだけでなく、自宅の電話、職場の電話、携帯電話、ポケットベルなどの通知先電話番号を変更することもできます。



(注)

Cisco Unity Assistant Web ツールを使用している場合は、さらに多くのオプションや通知デバイスを使用できます。Cisco Unity Assistant のヘルプを参照してください。

デバイスへの通知のオンまたはオフ

自宅の電話、職場の電話、携帯電話、ポケットベルに対する通知のオンとオフを切り替えることができます。通知デバイスをオフにしても、その設定は削除されません。

この項では、2つの手順を示しています。電話のキーパッドとボイス コマンドのどちらを使用しているかに応じて、適切な手順を実行してください。

電話のキーパッドを使用してデバイスへの通知をオンまたはオフにするには

-
- ステップ 1** Connection を呼び出してログオンします。
 - ステップ 2** メイン メニューで、[設定オプション] > [メッセージ設定] > [メッセージの通知] を選択します。
 - ステップ 3** 現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話への通知をオンまたはオフにします。
-

ボイス コマンドを使用してデバイスへの通知をオンまたはオフにするには

-
- ステップ 1** Connection を呼び出してログオンします。
 - ステップ 2** Connection から「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。
「Setup」（インプット スタイルが一時的に電話のキーパッドに切り替わります）。
 - ステップ 3** 電話のキーパッドで、[メッセージ設定] > [メッセージの通知] を選択します。
 - ステップ 4** 現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話への通知をオンまたはオフにします。



ヒント インプット スタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで*を押し続けます。

通知先電話番号の変更

自宅の電話、職場の電話、携帯電話、およびポケットベルの通知先番号を変更できます。

電話番号を入力するときは、番号の間にスペース、ダッシュ、またはカッコを使用しないでください。外線通話に必要なアクセスコード（たとえば9）から入力を始めます。必要に応じて、シャープ記号（#）を使用して1秒のポーズを追加します。

この項では、2つの手順を示しています。電話のキーパッドとボイス コマンドのどちらを使用しているかに応じて、適切な手順を実行してください。

電話のキーパッドを使用して通知先電話番号を変更するには

-
- ステップ 1** Connection を呼び出してログオンします。
 - ステップ 2** メイン メニューで、[設定オプション] > [メッセージ設定] > [メッセージの通知] を選択します。
 - ステップ 3** 現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話の通知先電話番号を変更します。

メッセージ通知に社内の電話番号を使用する場合は、内線番号だけを入力します。

ボイス コマンドを使用して通知先電話番号を変更するには

-
- ステップ 1** Connection を呼び出してログオンします。
 - ステップ 2** Connection から「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。
「Setup」（インプット スタイルが一時的に電話のキーパッドに切り替わります）。
 - ステップ 3** 電話のキーパッドで、[メッセージ設定] > [メッセージの通知] を選択します。
 - ステップ 4** 現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話の通知先電話番号を変更します。

メッセージ通知に社内の電話番号を使用する場合は、内線番号だけを入力します。



ヒント インプット スタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで*を押し続けます。
